

てんだあ 第59号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2023年 3 月

〒294-0813 千葉県南房総市谷向109-1 TEL (0470) 29-3729/FAX (0470) 36-2261
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



C CONTENTS ~主な内容~

- 第17回南房総市社会福祉大会 … 2P
- 福祉作文コンクール …… 3P・4P
- 相談事業紹介 …… 5P
- 福祉ニュース …… 6P・7P
- ボランティアネット(和)ーク …… 8P
- 善意の寄附、お知らせ …… 9P・10P

4年ぶりに ボランティアまつり開催

2月4日、南房総市社協ボランティア連絡協議会が主催する、ボランティアまつりを開催しました。

当日は、ボランティア団体の活動紹介パネルの展示や手工芸品作成コーナーなど、大勢の方が集まり、会場はにぎわいをみせていました。



ギンヨウアカシア
花言葉：「友情」

「ともに生きる豊かな地域社会」づくりの実現に向けて



「ふれあい

ささえあい 困りごと気づける

お互い様の地域づくり」をテーマに

第17回 南房総市 社会福祉大会

第17回南房総市社会福祉大会を、11月26日（土）三芳農村環境改善センターを会場に開催しました。

大会では、コロナ禍において、高齢者等の孤立や失業、減収などにより、生活に困窮する世帯や多様な様々な困りごとを抱える人が急増する中で、これまで以上に「お互い様の関係づくり」を地域で構築し、誰もが安心して暮らせるよう「ともに生きる豊かな地域社会」づくりの実現を目指していくことを地域の皆様と共に誓いました。

また、社会福祉活動にご尽力され功績のあった方々への表彰と感謝状の贈呈、市内小中学校および高校から募った福祉作文の中から最優秀作品に選ばれた児童・生徒の心温まる作文の発表がありました。

表彰された皆様おめでとうございます

南房総市社会福祉協議会長表彰状（敬称略）

【地域福祉活動功労者】

岡崎政子 石井一保
前田慶子 波尾美岐子
鈴木京子 小池志恵
日向法子 鈴木偉夫
松田恵子 石井洋子
木村和子 羽山光枝

【民生委員・児童委員活動功労者】

上村とみ江 刈辺恵子
佐野妙子 田中いゆ子
藤井芳彦 渡邊千里
丸まり子 岩波美恵子
石井民子

南房総市社会福祉協議会感謝状（敬称略）

株式会社水越（東京都）
合同会社青木板金
舞花カラオケ愛好会



地域福祉活動功労者の表彰

南房総市社会福祉協議会福祉作文優秀作品表彰状

小学生の部

最優秀賞 岩波学弥（富浦小）
優秀賞 渡辺琴美（富山小） 佐久間璃人（嶺南小）
優良賞 佐久間睦美（富山小） 川崎文愛（三芳小）
中学生・高校生の部
最優秀賞 小川ひかり（白浜中）
優秀賞 川名莉央（富浦中） 加藤和花（嶺南中）
優良賞 渡邊かな（三芳中） 佐野美妃（千倉中）



小学生の部、表彰者



中学生・高校生の部、表彰者

育まれるゝ福祉の心、福祉作文コンクール代表作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「おもいやり、たすけあいの心」をテーマとした作文387編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

《小学生の部》 福祉とは

南房総市立富浦小学校

6年 岩波 学弥 いわなみ がくや

福祉という言葉がピンとこず、何も浮かばなかった。母に福祉とは何かを尋ねてみると、一瞬とまり、「福祉サービスはこんながあるよと紹介できるけど、福祉って何だろうね」と聞き返されてしまった。

福祉とは「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味し、すべての人々に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念を表すようだ。また、福祉とは「ふだん」の「くらし」の「しあわせ」とも言うらしい。そう考えると、大変身近で当たり前のことであるようにも思えるが、一人一人何が幸せと感じるか人はそれぞれ異なり、様々な環境があるので、やはり全ての人の普段の暮らしの幸せは難しいことかもしれない。しかし、特別なことと捉えずに普段から地域の中で自分も他人も大切に考えてすごしていくことが福祉につながるように思う。どう行動していくことが良いのか、まずは福祉サービスと向き合ってみよう。

三年前に八九才で亡くなった曾祖母は丸山に一人で住んでいた。月に一度民生委員さんがお昼ご飯を届けてくれるふれあいランチサービスを頂

いていたそうだ。「こんなの食べないし申し訳ないから断りたい」と食べられないメニューで食事を楽しめない時もあつたようだが、両親は一人で住む曾祖母のもとに立ち寄っていただけのことと安心して、とてもありがたかったそう。又、食事がすすまなくても、配食とともに来るお便りを曾祖母は、かきさずとじていた。大事な栄養素の覚え方（まごはやさしい）や、熱中症対策に関する豆知識を得て、ぼくたちによく教えてくれていたのを思い出す。食事を届けながらの見守り活動、人とひととのつながりと優しさを感じた。ぼくはまだふれあいランチサービスを手伝うことはできないが、そうした活動があることを胸に止め、近所で一人で住んでいるおばあさんとの交流を大切にしたい。

その曾祖母は腰の骨を折り、定期的に整形外科への通院を行っていた。ぼくたち兄弟が小さい頃は、ボランティア移送サービスにもお世話になっていた。丸山の自宅から館山の病院までを送ってもらい病院でぼくたちを連れて母と合流し受診を行っていた。ぼくたち三人を連れたの車の移動が大変だった時期にとっても助かったと母は話す。一方で移送ボランティアを担ってくださっている方々が七十代であつたそうだ。若い世代がそうした取り組みを知り、ドライバーが増えていくことを願

う。

こうしたサービスがのつている、南房総市社会福祉協議会のガイドブックが家にはあつた。保存版と書かれた冊子の存在を今日まで知らなかった。表紙にはみんながつながり支え合う、みんなにやさしいまちづくりと書かれ、子供や若者、高齢者、多くの人の笑顔の絵がある。

そうした視点でみつめていくと、ぼくが小さい頃お世話になつてきたファミリーサポート事業も福祉サービスといえるものかもしれない。宗像さんが迎えに来てくれたり、宗像さんの家で留守番していたことをとてもよく覚えてる。楽しく優しく母の不在が気にならなかつた。母も安心してあずけられたという。

高齢者や子供が普段の暮らしを幸せに過ごすために支えてくれる人々がいる。

今、ぼくができる一歩は、普段の暮らしの中で出会う人々を大事にすることだと思つていた時、相手を思う気持ち、相手にとつての幸せとは限らないことを体験した。

病院の二階のエスカレーターの入り口付近で、杖を持ったおじいさんと付きそいらしいおばあさんがいた。エスカレーターに乗る一歩が出せないような印象で、母が「向こうにエレベーターがありますよ」と声をかけた。すると、

おばあさんが「ありがとうございませす。エスカレーターが乗れないとダメなんです。これもリハビリです。」と話された。母は、「今必要だったのは、じっくりゆっくり見守ることだったね」と反省していた。相手の立場に立つという難しさも感じたが、声を掛け合い相手のニーズをくみ取るこの大切さも同時に感じた。

最後に、福祉と少しずれるのかも知れないが、ぼくはこの夏休みAEDの場所を意識して過ごしている。「誰かAEDを持つてきて下さい」と流れたニュースが忘れられず、緊急な事態は起きてほしくないが、いざという時にAEDをすぐに届けられるようにしたいと思つたのだ。今の所、富浦内で8カ所はみつけた。家族や友人にもお知らせしておこうと思つている。

みんながつながり支え合う、みんなにやさしいまちづくり、ぼくもその一員でありたい。



福祉作文小学生の部
岩波 学弥さん

《中学生・高校生の部》

介護の苦労と支え合い

南房総市立白浜中学校

1年 小川 ひかり

私のひいおばあちゃんは昨年おがわの秋、九十五歳で亡くなった。老衰だった。離れて暮らしているのでも月に一回程度会えるか会えないかだけで会いに行くといつも得意のジグソーパズルをやりながらニコニコ私と話をする。

普段は、ひいおばあちゃんにとつて娘、私のおばあちゃんが身の周りの世話をしている。ひいおばあちゃんは、足腰が弱っているので一日の大半はイスに座って大好きな歴史の本を読んだり、ジグソーパズルをやったりしているが少しでも動くようトイレは自分で行く努力をしていた。そんなひいおばあちゃんも昨年の一月頃からだんだん元気がなくなってきた。面倒を見ていた私のおばあちゃんも仕事の休けい時間や合間をみて様子を見に帰ったり、おばあちゃんの負担は徐々に増えてきた。日頃からひいおばあちゃんとは、人と接することが苦手おがわでデイサービスなどのようなみんなが集まるような場所へは行っていないので常におばあちゃんに頼っていた。食事おがわも歯がなくても

食べれるように工夫したり、重労働の入浴もおばあちゃんが一人でやってきていた。私は、デイサービスのように食事や入浴をしてくれるサービスがあるのだから利用すれば少しはおばあちゃんも楽になるのと思った。けど、ひいおばあちゃんが嫌がるので何とか一人でこなしていた。世の中には、サービスの存在を知っていても家庭の事情によって利用できない人もいるという問題もある。

ひいおばあちゃんが寝たきりになり、ますます負担が大きくなった。おむつ交換や体の位置を動かしてあげるのはとても重労働でついにおばあちゃんは腰を痛めてしまった。自分自身の身動きが思うようにできず、私のお母さんや横浜に住んでいるおじさんが手伝うようになった。ひいおばあちゃんが寝たきりになった時、周りの勧めもあって介護支援を利用することになった。週一回ケアマネージャーさんがきて体調や様子を聞きながら、雑談したり、病院への定期検診を訪問診療に切り換え、月一回病院の先生と看護師さんが往診にきて困ったことがないか聞いてくれたりしたが普段は家族の介護となるのでおばあちゃんも心身ともにクタクタになっていた。だけどその

ようなサービスを利用することで一人で悩んだり不安なことを相談することができたのだと思う。腰を痛めたおばあちゃんにとつて訪問入浴はとても助かっただろう。自宅に移動式のお風呂をもつてきて2人がかりで丁寧にいれてくれる。最初はひいおばあちゃんも恥ずかしがったり怖がったりして嫌がっていたけどそのうち慣れてきて平気になった。介護は一人ではできない。周りの手助けが必要だと思った。

そしてお医者様からあと何日ももたないと言われた時、おばあちゃんは自分の腰痛も悪化したこともあり生活に支障がでて介護するのもままならなくなり、病院に入院させた方が良いか、ひいおばあちゃんの想いどおり、自宅で過ごさせた方が良いかの選択になった。難しい選択だったが、やはり最終はひいおばあちゃんの意志を尊重しようとうと自宅での看取りを決断した。ひいおばあちゃんは何より自分の娘（私のおばあちゃん）を頼つてそばにいて欲しかったと思うのでおばあちゃんは大変だったと思うけど今となると正しい選択だったのかもしれない。

そして二十四時間対応の訪問看護をお願いした。夜、何かあっても看護師さんが訪問してみにきてくれるサービ

スだ。そのおかげでひいおばあちゃんの最期をきちんと見守ることができたとおばあちゃんが話してくれた。

一人の最期を看取るだけでも何人もの手助けによって家族の負担が少しでも楽になるサービスが身近な人の経験で改めて知った。今、高齢化社会でこうしたサービスが必要な人も多くいるだろうし、逆にサービスを知らない人や利用したくても家庭の事情でできない人もいるというさまざまな問題があるだろう。福祉とは誰かの幸せの為に手助けすることであり、人々の幸福で安定した生活を公的に達成しようとする事なので世の中の介護の悩みをもっている人が一人でも多く辛い思いを軽減して幸せな世の中になつて欲しいと思った。



福祉作文中学生・高校生の部
小川 ひかりさん

生活の不安、困り事、そんな時にご利用ください！

～南房総市社会福祉協議会の相談事業紹介～

◆事例 80代の母親と50代の息子の場合

現在、母親と息子の2人で暮らしています。息子は高校を卒業後、1年ほど仕事をしていたのですが、辞めた後はあまり外には出ず、近所の人もほとんど関わりがありませんでした。世帯の収入は母親の年金のみで、自分の身に何かあった時に、今後の生活をどうすればよいのか心配になっていました。家族関係が険悪になることを心配し、息子にも生活費のことや仕事をしてほしいという気持ち話をすることができません。

★相談支援員の対応

まずは相談者に生活状況や困っていることをうかがいます。世帯の家計状況の把握や息子さんの様子も確認しながら、息子さんからも話をうかがい、仕事をするに不安を感じていれば就労支援として、仕事や人と接する不安が和らぐように支援を行っています。



※ご相談は無料で、相談内容の秘密は守られます。
電話や窓口での相談のほか、訪問による相談もできます。

- 例えばこのようなことで困ってはいませんか？
- ・働く意欲はあるが自信がない
 - ・家計のやりくりがうまくできない
 - ・ずっと働いていないから不安
 - ・引きこもった家族が心配 など



近年の景気低迷にコロナ禍の影響も重なり、働く場をなくしたり、収入が減ったり、家計が苦しいなど、生活のことでお悩みはありませんか？
生活困窮者自立支援制度の相談窓口では、日々の生活のこと、仕事のことなど専門の相談支援員が現状をつかがいながら、解決に向けたお手伝いをします。

一人で悩まずに、どのようなことでも結構ですので、まずはご相談ください。

生活困窮者自立支援制度のご紹介

法律に関することの相談は

～無料法律相談～

南房総市にお住まいの方を対象に、身近な場所で司法書士が相続などの相談に応じる無料法律相談を行っています。

【予約方法】

前月の開催日翌日から電話にて予約を受付

【定員】

先着 5 名

【相談時間】

おひとり 40 分

【開設時間】

午後 1 時～午後 4 時 40 分

※調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。緊急な相談、専門的な相談を希望される方には、弁護士会や他の専門機関、電話相談窓口をご案内します。

地域で自立した生活を送る為に

～日常生活自立支援事業～

高齢者や障がいのある方が、安心して笑顔で自立した生活を送るために必要な支援をします。

【内容】

定期的に生活支援員が訪問し、福祉サービスを利用するお手伝いや、日常の金銭管理をお手伝いします。

【次のようなことで、お困りの方のお手伝いをします】

- 福祉サービスの利用の仕方がわからない。
- 公共料金の支払い、銀行などでの払戻がうまくできない。
- 通帳や印鑑、大切な書類をよくなくしてしまう。
- 役所から届く書類をどうしたらよいかわからない。

【年会費・利用料】

- ・年会費 3,600 円 (月額 300 円)
- ・利用料 サービスの利用にかかった時間 (1 時間 30 分未満 1,000 円～) と生活支援員の交通費分
- ・財産保全サービス 年間 3,000 円 (月額 250 円)

福祉 ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

11月29日

気分は小旅行、仲間と一緒に

～千倉地区社協買い物ツアー～

千倉地区社協では高齢者を対象に買い物ツアーを開催しました。

これは、高齢者の閉じこもりを予防し外出の機会をつくり、また楽しみながら買い物支援することを目的に計画しました。

当日は、時間前にもかかわらず皆さん早々に集合され、いざ出発。貸切バスの利用は久しぶりと車内にもぎやかで、最初の目的地、鴨川市にあるベイシアで買い物を楽しみました。

次の目的地に向かう途中では、車窓から紅葉を楽しみながら三芳にある道の駅、三芳村鄙の里にあるカントリーマムで昼食をとりました。

参加された方は「まるで小旅行に行つた気持ちになった。楽しいひと時を過ごせました。また計画があつたら参加したい」と話をされました。

地区社協の

役割において「地域の皆さん、あい」とあり、皆さんに喜んでもらえる事業を委員で企画検討します。



久しぶりの外出に気分も弾みます

12月3日

コロナに負けない 健康な身体づくりを

～富山地区社協地区フォーラム～



健康体操で毎日元気に

70歳以上の方を対象に「富山地区フォーラム」を開催しました。内容は、南房総市立富山国保病院の鈴木孝徳院長をはじめとしたスタッフの皆さんによる健康講座

でした。

鈴木院長によるフレイル（虚弱）予防についての講話や理学療法士さんによる健康体操を教えていただき皆で体験してみました。

また、管理栄養士さんによる健康維持のためのおすすめ料理のレシピの紹介がありました。講師の皆さんの楽しいお話に引き込まれ、参加された皆さんは笑顔になっていました。

参加された方は、「おすすめ料理のレシピを覚えてもらったので、家に帰って作ってみたい。健康体操も続けていきたい」と話されていました。

1月26日

同じ興味を持つ仲間を通じて

～丸山地区社協樹木剪定教室～

70歳以上の方を対象に「樹木剪定教室」を開催しました。

当日は、剪定に興味のある28名の方が参加し講師に石崎政彦さんをお招きして、柿の木を使って剪定の方法を教えていただきました。

参加された方は、講師の話にメモを取りながら、質問したりと熱心で、教えていただいたことを参考に「家に帰ったら実際にやってみようかな」と学んだことを早速活かそうという声が聞こえてきました。参加された方より、「次回も剪定の企画があつたら参加したい」「他の木の剪定方法も知りたい」「参加して、同じ興味がある人と知り合いになれて楽しかった」との声が聞かれ有意義な時間を過ごしました。

同じ興味

を持つ方々が集まり、仲間づくりを通じて「ふれあい」の気持ちになれば良いと思います。



講師の手技に興味津々！

福祉 ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

9月27日
12月22日

高齢者や障がい

持った方の気持ちになって

福祉体験講座

白浜小学校では、4年生を対象に高齢者疑似体験を行いました。高齢者について説明の後、装員を着用して歩いたり本を読んだりしました。

体験後、「歩くのが大変だった」「本を読むのも字が見えなくてお年寄りの気持ちがわかった。」と話していました。

富浦中学校では3年生を対象に手話体験と車イス体験を行いました。

手話体験では安房郡市聴覚障害者協会から大倉清行さんを講師に迎え、安房郡市手話サークル連絡協議会のご協力のもと、手話で挨拶や自己紹介などを表現してみました。

体験した生徒から「手話で初めて言葉を表現したけど、もっと手話を覚えたい。覚えて耳の不自由な方と話してみたい」と手話に興味を持っていました。車イス体験では、デコボコ道や坂道を押してみるなど、介助する側・される側の両方を体験し、「怪我をして車イスに乗ったことはあるけど、デコボコ道や坂道は乗ってて怖かった」と話していました。

福祉体験を通じて、様々な立場にある人たちが「おたがいに支え合い、たすけあい」の気持ちを育んで行きたいです。



初めての手話に真剣



文字が見づらいなあ

12月

地域の皆さまからの

素敵なクリスマスプレゼント♪

福祉育成事業 絵本贈呈

今年も子どもたちの健やかな成長を願って南房総市内の保育所・幼稚園の子どもたちへたくさんのお絵本を贈りました。この事業は、赤い羽根共同募金を活用した子どもたちに向けた事業で、地域の皆さまの募金運動により、実施しています。

保育所や幼稚園の先生から、新しい絵本を手にした子どもたちは、目をキラキラ輝かせ早速、嬉しそうに読んでいたそうです。

絵本を読んで面白さや楽しさをたくさん経験して欲しいです。



みなみと一緒に！ハイチーズ！

12月13日

「白子ひとやすみ」に サンタクロースが来た！

お達者サロン「白子ひとやすみ」

サロン「白子ひとやすみ」は千倉白子地区で毎月第2・第4火曜日に開催されるサロンです。12月13日にクリスマス会を行いました。カラオケあり、くじ引きあり、サンタクロースの登場もあり、参加される方はもちろんボランティアとして協力される地域の方々も一緒に楽しい時間を過ごしました。



くじ引き、何が当たるかな？

ボランティア 連協

たくさんのボランティアが集った

ボランティアまつり開催

南房総市社協ボランティア連絡協議会主催のボランティアまつりが、2月4日（土）みよし交流館を会場に開催されました。

このまつりは、市内各地区のボランティア活動を多くの方に紹介する機会として毎年開催していましたが台風やコロナ禍の影響で見送りを余儀なくされ、今年度は4年ぶりということもあり登録団体の交流を図ることを目的に、お互いの活動紹介のパネル展示や、手工芸品の作成、小物の販売を行いました。

また、南房総市保健推進員による健康に関する講話や今までコロナ禍で思うようなボランティア活動ができない中の取組として、ボランティアの皆さんで考案し作成した折り鶴アートを展示し会場は華やかになっておりました。

市内のボランティア団体が一堂に会するのは久しぶりということもあり、活気にあふれたひと時となりました。

来年度はコロナ禍以前のような地域の皆さんにも楽しんでもらえる形でイベントが開催できればと考えています。



何ができるかな？ 手工芸品作成コーナー



展示パネルを使って活動紹介



ボランティア皆で作った、折り鶴



広かれ！

ボランティアの活動をレポート

ボランティアネット和ノク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

令和5年度 ボランティア登録のご案内！

～市内でボランティア活動をしている方へ～

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの活動を支援するため、令和5年度のボランティア登録を受付しています。（令和4年度に登録された個人・団体の方も更新が必要となります。）

今年度は58団体857名の登録があり、各団体が様々な活動を行っています。
皆さんもボランティア活動を始めてみませんか？

●登録のメリット●

- 社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険へ加入ができます
- 希望する団体へボランティア活動助成金を交付します

問い合わせ先 / お近くの福祉サポートセンターへ



令和4年度

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力ありがとうございました。

●赤い羽根共同募金 6,209,223 円

●歳末たすけあい募金 6,076,202 円

10月からの赤い羽根共同募金、12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆さまから多くのあたたかい善意をお寄せいただきました。

行政区を通じての戸別募金、各学校の児童・生徒の皆さん、市内の商店街、各種団体やボランティアの方々など多くの方に募金のご協力をいただきありがとうございました。

赤い羽根共同募金は、千葉県共同募金会をとおして次年度の南房総市地域福祉活動へ配分されます。また、歳末たすけあい募金は南房総市共同募金会配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ民生委員さんを通じてお届けしました。



紙おむつを支給します

南房総市に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを年4回給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベッド上で過ごされ日常生活のほとんどに介助を要する介護保険法で定められた要介護認定3・4・5の方 ・身体障害者手帳（1・2級）をお持ちの方 ・精神障害者保健福祉手帳（1・2・3級）および療育手帳（A・B）をお持ちの方
品目	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり税込5,000円以内ただし要介護3の方は税込2,500円以内
提出書類	①紙おむつ給付申請書 ※お住いの地区の民生委員・児童委員の意見が必要 ②介護保険証または障害者手帳等の写し

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で在宅の要介護認定4・5の方、介護しているご家族 ※要介護高齢者の属する世帯全員の前年度分の市民税が非課税であることが必要
品目	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内（年度額100,000円まで）
提出書類	①高齢者介護用品支給申請書 ②介護保険証の写し ③購入希望先業者の見積書

給付月および申込期限

5月給付の申込は 令和5年 4月12日（水）まで

8月給付の申込は 令和5年 7月12日（水）まで

11月給付の申込は 令和5年 10月11日（水）まで

2月給付の申込は 令和6年 1月10日（水）まで

申込先/南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター

問い合わせ/南房総市社会福祉協議会（本所）

または、お近くの福祉サポートセンターへ

お知らせ

～司法書士が相続などの相談に応じます～

無料法律相談

時間/午後1時～午後4時40分

開設日	場 所
3月16日（休）	三芳農村環境改善センター
4月20日（休）	ちくら介護予防センターゆらり
5月18日（休）	とみうら元気倶楽部
6月15日（休）	白浜コミュニティセンター

※新型コロナウイルス感染症の動向により中止になる場合もあります。

○事前予約申込：前月の開催日翌日から電話にて予約を受け付けます。

○定 員：5人（相談はおひとりにつき40分まで）

○その他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。弁護士による相談は他の機関を紹介します。

予約・問い合わせ先：南房総市社会福祉協議会（本所）

☎29-3729

頭の体操

■たて・よこのカギを解いて ABCD の文字を答えよう！

1		2		3	
					D
	A		B		
2		4		5	
		3			6
4					
	C				

↓たてのカギ

- 1：時間や日などずらした変則的な勤務体制。
- 2：溶かした蝋に顔料を混ぜて棒状に冷やし固めた画材。
- 3：三重県中部の市名。○○神宮。
- 4：海の水が満ちたり引いたりすること。
- 5：遠回りすること。
- 6：腰かけるための家具。

→よこのカギ

- 1：学校などで家庭作業として出す課題。
- 2：西洋の対概念。
- 3：深い海。
- 4：3原色の一つ。良く晴れた空の色

A	B	C	D
---	---	---	---

※クロスワードパズルの答えは最後のページに掲載しております。

クロスワードパズルクイズをやってみよう！



ご意見をお待ちしています！

<回答方法>

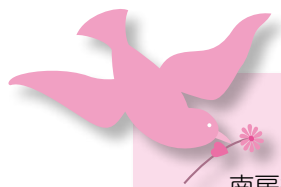
(1) はがき ①ご意見・ご感想②住所③氏名④年齢

⑤電話番号を記載の上、南房総市社会福祉協議会（本所）へご送付ください。

(2) フォーム (<https://forms.gle/W2VNJEaEznTG9qrAA>) からアンケートにご回答ください。

※個人情報はお寄せいただいたご意見等の内容を確認する以外には使用いたしません。





たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄附

敬称略/令和4年10月～令和5年1月

南房総市朝夷商工会	37,947円
千倉町囲碁同友会	6,763円
合同会社青木板金	10,000円
ラリーチームホットスタッフ	20,000円
白浜ゴルフ部	22,712円
匿名(6件)	354,564円

(物品寄附)	
合同会社青木板金	車椅子1台
株式会社MIC	マスク50枚入り×30箱
匿名(1件)	米30kg×3袋

この寄附金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。
ありがとうございました。

訪問理髪サービス 費用の一部を助成

移動が困難な高齢の方や障がいのある方が、訪問による理髪サービスを利用した際にかかる費用の一部を助成します。

○対象者

- ①要介護4・5の方
- ②身体障害者1・2級の方で下肢または体幹機能障害のある方

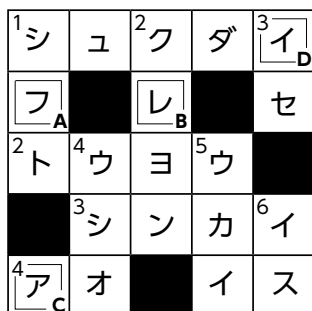
○助成の内容

1回あたり2,000円の助成(年間8,000円が限度)

※申請月により、お渡しする給付券の枚数が異なります。

○申請方法

- ①訪問理髪サービス申請書(お住いの地区の民生委員・児童委員の意見が必要)
 - ②介護保険証または障害者手帳の写し
- ※詳しくはお近くの福祉サポートセンターへ



P9 クロスワードパズル
【答え】

フ レ ア イ



ちょっとした家事のお手伝い ～みなみん・おたすけ サービス～

高齢の方や障がいのある方のご自宅へサポーターが訪問し、ちょっとした生活の困りごとや家事などのお手伝いをする会員制の有償生活援助サービスです。

○利用会員

65歳以上の方、障がいのある方で日常生活で支援や援助が必要な方。(介護保険を利用していても本サービスをご利用できます。)

○支援の内容

買い物代行・部屋掃除・ゴミ出し・洗濯
布団干し・調理の手伝い・電球交換・話し相手等

○協力会員募集

ボランティア活動に理解があり協力できる方
※社会福祉協議会が主催する講習の受講が必要となります。

※詳しくはお近くの福祉サポートセンターへ

— 発行・編集 —
(各種申込先)

社会福祉法人 **南房総市社会福祉協議会**

◆本所 南房総市谷向 109-1
☎ 29-3729 FAX 36-2261

- ◆とみうら福祉サポートセンター ☎ 33-4565
- ◆とみやま福祉サポートセンター ☎ 57-2926
- ◆みよし福祉サポートセンター ☎ 36-2276
- ◆しらはま福祉サポートセンター ☎ 30-5122
- ◆ちくら福祉サポートセンター ☎ 44-3541
- ◆まるやま福祉サポートセンター ☎ 46-2200
- ◆わだ福祉サポートセンター ☎ 47-3390

みてみて!



facebook



twitter

